

東京都議会議長
川井 しげお 殿

築地市場の豊洲移転を一日も早く実現することを東京都に求める署名

築地市場の豊洲移転のこれ以上の延期は、都民が不利益を被ります。

昨年 11 月 7 日に予定されていた東京・築地市場の豊洲市場への移転は、小池百合子都知事の判断によって延期となりました。

「移転先の豊洲がガス工場跡であり、土壌が汚染されていた。そして、その汚染物質が地表に出ないようにするための『盛り土』がされていない箇所があった」ということが主な理由でした。

しかし、豊洲では汚染物質の除去作業はしっかりと行なわれており、コンクリートが敷かれる以上、汚染土が舞って、口に入り健康被害が生じる事はありません。また、地下に溜まった水が「環境基準の 100 倍」という数値も出ておりますが、飲み水どころか、そもそも市場内で使用しないため、安全上の問題はありません。

現在の築地市場は、建材に使用されているアスベストの飛散・仲卸業者売り場棟の老朽化・非効率な物流状況のために年 300～400 件も交通事故や接触事故の発生による「安全面の問題」、トラックやターレから排出される豊洲よりも高濃度のベンゼンを含む排出ガスをはじめ、ねずみやゴキブリ等による「衛生面の問題」が指摘されていた事により、豊洲市場への移転が決定しておりました。

さらに、「コスト面の問題」は深刻です。豊洲市場の建設には 6,000 億円の都税等が既に投入されており、開場しなくとも電気・水道料金や警備費などで一日当たり約 500 万円ものランニングコストがかかっています。また、市場移転の遅れにより、水産卸だけで損失額は 1 年で 40 億円弱にのぼり、資金繰りが苦しくなる仲卸業者が増える事も予想されます。

これ以上、小池都知事の判断で、築地市場の豊洲移転を延期することは、都民の血税を浪費するだけでなく、東京五輪の選手村につながる幹線道路「環状 2 号線」の開通も、五輪開催までに間に合わなくなるなど、東京都ひいては日本の経済発展を立ち遅らせるマイナス要因になります。莫大な費用をかけて建設したものを、野ざらしにする行為はマネジメントの観点からも問題であり、都民も不利益を被ります。

よって、私たちは以下、都に対して求めます。

都において、築地市場の豊洲移転を一日も早く実現していただきたい。

署名簿

氏名	住所

